

| 科目名 | | 36. 看護の入り口 | | | |
|---------------|---|---|------|-------------|---------------|
| 履修年次 | 1年次 | 科目区分 | 専門分野 | 単位数 (時間) | 1単位 (30時間) |
| ディプロマポリシー(DP) | <input type="checkbox"/> 人を大切にすること <input checked="" type="checkbox"/> 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 <input type="checkbox"/> チームの中で連携・協働するための力 <input type="checkbox"/> 専門職業人として自己研鑽する力 | | | | |
| 科目目標 | 看護の機能や役割を理解することができる | | | | |
| 到達目標 | 1) 保健・医療・福祉の現状や看護の歴史の変遷を踏まえ、人々に求められる看護の機能や役割・連携について表現することができる 2) 人間・環境・健康・看護の概念とそれらの関係について説明するとともに、自分の考えを表現することができる 3) 看護実践の枠組みとなる看護理論の概念について説明することができる 4) 看護の倫理的責任を踏まえ、看護者の責務について表現することができる 5) 看護に関心や興味を持ち、自己の看護観を思い描くことができる | | | | |
| 回 | 学習項目 | 学習内容 | | | 授業方法 |
| 1 | ① どのような看護師になりたいか | 看護師のイメージ・自身の目指す看護師像 看護師の役割 看護学の学習過程 | | | 講義 演習 |
| 2 | ① これからの看護に求められているものはなにだろう | 看護職の資格 看護の養成制度 看護職者の継続教育とキャリア | | | 講義 演習 |
| 3 | ② 看護とはなにか | あなたの考える「看護」とは 看護の定義 看護職の資格と業務 | | | 講義 演習 |
| 4 | ③ 看護の独自の機能とはなにか | 看護過程（個別的看護） 科学的根拠に基づいた看護 看護技術 安全性・安楽性・自立の確保、プライバシー保護 自己決定支援 看護研究（自己研鑽） | | | 講義 演習 |
| 5 | ④ 看護の対象である「人間」とはなにか | あなたの考える「人間」とは 人間の諸側面 人間の基本的欲求 人間の成長・発達 生活者としての人間 | | | 講義 演習 |
| 6 | ⑤ 主要概念 | 「人間とは」「環境とは」「健康とは」「看護とは」 | | | 講義 演習 |
| 7 | ⑥ 看護が向き合う「健康」とはなにか | あなたの考える「健康」とは 健康の定義 | | | 講義 演習 |

| | | | | |
|----|---|------------------------|---|----------|
| 8 | ⑦ | サービスとしての看護とはなにか | 看護サービス提供をともに担う職種とチーム医療 看護サービス提供の場 チーム医療における看護職の役割 | 講義 演習 |
| 9 | ⑧ | 対象にとってなにが本当に「よいこと」なのか① | 看護倫理 意思決定と守秘義務 看護者の倫理綱領 看護上の倫理的問題 | 講義 演習 |
| 10 | ⑨ | 対象にとってなにが本当に「よいこと」なのか② | 倫理について考える | 講義 演習 |
| 11 | ⑩ | 看護実践の拠り所となる看護理論とはなにか① | 看護理論を学ぶ意義 看護理論とは ナイチンゲールの理論を学ぶ | 講義 演習 |
| 12 | ⑪ | 看護実践の拠り所となる看護理論とはなにか② | 主な理論家とその理論 | 講義 演習 |
| 13 | ⑫ | 看護はどのような歴史をたどってきたのか | 看護の変遷 | 講義 演習 |
| 14 | ⑬ | 看護の今後の課題と展望 | 今後の課題と展望を明らかにする | 講義 演習 |
| 15 | ⑭ | 看護の今後の課題と展望 | 今後の課題と展望を明らかにする | 講義 演習 |